

たのしい和紙絵

グループ長 小林 郁朗

いつもワクワクして活動中

私達はシニア大学で2年間、手芸クラブ(ちぎり絵)で和紙絵をやってきました。ここでクラブの素晴らしさを皆様に紹介したいと思います。

ちぎり絵は色の付いた和紙をちぎって台紙に貼り、絵にします。使用する和紙は薄く透けているものや、厚いもの、その色も一色のものや色々な色の混ざったもの、更にはグラデーションのものまで実に様々です。与えられた課題に対しどの和紙のどの部分をちぎって張れば良いかが決め手になります。もちろん一回貼っただけで良い場合や何回も重ねて貼り、より豊かな表現にする場合もあります。花びらなどの場合は色が変化しますのでグラデーションの和紙がとていい感じになります。

和紙絵をやってみてわかった事は

1. 和紙絵は油絵よりも簡単に素晴らしい表現ができる
2. 奥が深く、飽きない
3. 素晴らしい表現ができた時の達成感がメチャメチャ大きい
4. 創作活動の課程で「こうすれば素敵な仕上がりになるかな」等いつもワクワクしながら制作に打ち込める
5. 良く頭を使わないと「ぼける」と言われています。また芸術関係の脳を使うと「ボケ防止」にとっても効果的だとも聞いています。その点和紙絵は「ボケ防止」にぴったりです

グループのみなさんと食事会を行ったり、和紙絵の糊が乾くまでの待ち時間を利用して、雑談をし親睦を深めております。健康で、毎日ワクワクした気持ちで、そしてボケない生活がこれからもずっとずっと続いて行く様に皆で楽しんでおります。



いきいき作品展
アリオ上田店



賛助会活動発表会

